



平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

通 所 介 護

大津みやび野デイサービスセンター

平成 30 年度 事業計画

目 標	プログラム及び評価項目の追加を行い、的確な機能訓練が提供できることで、利用者の満足度を高める。
理 由	より充実した機能訓練を実施するためにはプログラムの追加だけでなく、評価項目を追加し、利用者の心身状態を的確に把握することが必要である。また、取り組み内容についてのアンケートを実施することで、利用者自身が感じている達成度の確認や、取り組み内容の課題を明確にするため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外部研修の参加や法人内の通所介護の生活相談員で毎月実施する生活相談員会議で情報交換を行うことで、現在のプログラムの種類を増やす。 2. 機能訓練指導員が利用者の心身機能の評価のためモニタリングを実施しているが、手指機能の評価を増やすことで、より日常生活における効果を判定し、評価内容を充実させる。 3. 外出支援のような行事だけでなく、日々のサービスの中でも散歩等を多く取り入れ、意欲の向上につなげる。 4. サービスにおけるアンケートを実施し、改善点を明確にする。

平成 30 年度 事業報告

事 業 報 告	<p>機能訓練に関する外部研修は日程の都合上、参加が難しく機能訓練プログラムの種類を大幅に増やすことは出来なかったものの、従来から取り組んでいたプログラム内容を見直すことで、利用者が飽きることなく目的を持って取り組めるようにした。結果として消極的であった利用者も新たに参加される方が増えた。</p> <p>利用者を対象としたアンケートの結果では機能訓練だけでなく、日々のレクリエーション活動等においても概ね良い評価をいただいたため今後も継続していく。</p>
事業運営総括	<p>平成 30 年度は体調不良により入院される方が毎月 2 から 3 名ほど見られ、夏場は利用実績を下げる結果となった。ただ、週に 1 回利用されていた方が 2 回、3 回と回数を増やして利用していただいたこともあり、年度末にかけて実績が回復した。ただ、追加を希望される方と入院中であるが退院後に利用したい方との間で調整がうまくいかない場合もあった。その為にも利用者本人や家族、担当ケアマネジャーと普段から情報交換や連携を密に行っていく必要がある。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護1.25 》

平成31年3月31日 現在

	人数	割合
事業	4	4%
要支援1	10	11%
要支援2	17	19%
要介護1	31	36%
要介護2	17	19%
要介護3	3	3%
要介護4	6	7%
要介護5	1	1%
合計	89	100%

月間利用実績（人数）

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	7	7	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	63
要支援1	6	7	8	8	8	9	11	10	10	9	10	10	106
要支援2	19	20	20	19	17	16	17	14	16	16	17	17	208
要介護1	27	28	28	28	28	28	26	29	30	29	30	31	342
要介護2	11	12	11	13	15	13	16	15	16	16	16	17	171
要介護3	8	8	8	8	7	8	6	6	4	3	3	3	72
要介護4	5	4	4	4	4	4	5	4	5	5	6	6	56
要介護5	1	1	0	1	1	1	1	1	2	2	2	1	14
合計	84	87	85	86	85	84	87	84	88	85	88	89	1,032

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 82.4%》

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	42	44	41	30	35	34	38	33	33	29	27	32	418
要支援1	26	31	30	34	29	34	45	42	38	36	36	36	417
要支援2	144	150	159	140	134	107	123	94	96	99	101	109	1,456
要介護1	216	259	240	232	241	220	238	257	236	243	243	272	2,897
要介護2	86	76	78	84	93	85	116	114	106	121	115	126	1,200
要介護3	64	67	70	45	45	52	46	47	28	27	24	24	539
要介護4	40	47	39	37	43	39	46	42	47	47	52	62	541
要介護5	8	6	0	1	4	4	5	4	10	12	9	6	69
合計	626	680	657	603	624	575	657	633	594	614	607	667	7,537

開所日数

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	25	27	26	25	27	24	27	26	24	24	24	26	305

曜日別延べ利用実績

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	1,285	1,271	1,205	1,281	1,275	1,220	7,537
割合	17%	17%	16%	17%	17%	16%	100%

1週当り平均利用人員

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	25.6	24.9	23.6	25.1	24.5	23.4	147.10	24.52
割合	17%	17%	16%	17%	17%	16%	100%	—

回数別利用人員

平成31年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	26	35	15	9	2	2	89
割合	29%	39%	17%	11%	2%	2%	100%

保険者の状況

平成31年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	86
太子町	3
合計	89

年齢別構成状況

平成31年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	0	2	4	8	5	1	20
女	2	0	5	5	21	25	11	69
全体	2	0	7	9	29	30	12	89

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩 行	自 立 歩 行	68	76.4%
	杖等の歩行補助器使用	14	15.7%
	車 椅 子 使 用	7	7.9%
食 事	自 分 で 可 能	84	94.4%
	一 部 介 助	2	2.2%
	全 部 介 助	3	3.4%
入 浴	自 分 で 可 能	72	80.8%
	一 部 介 助	12	13.5%
	全 部 介 助	5	5.7%
着 替	自 分 で 可 能	72	80.8%
	一 部 介 助	12	13.5%
	全 部 介 助	5	5.7%

平成31年3月31日現在

区 分			実数	割合
排 泄	トイ レ	自分で可能	80	89.9%
		介 助	8	9.0%
	内おむつ使用		1	1.1%
認 知 症 老 人			17	19.1%

対 象 人 数	89
---------	----

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	桜見学（置塩城跡）	脳トレ（計算、漢字問題） カレンダー作り	おもり負荷体操 平行棒運動 階段昇降運動
5月	世代間交流	手芸 塗り絵（カレンダー作り）	ゴムチューブ運動 棒体操 ボール体操
6月	あじさい見学（綾部山梅林）	手芸 脳トレ（間違い探し）	棒体操 階段昇降運動 ゴムチューブ体操
7月	世代間交流	手芸 脳トレ（計算、漢字問題）	階段昇降運動 下肢運動 ボール体操
8月	夏祭り	塗り絵（カレンダー作り） 脳トレ（計算、漢字問題）	ゴムチューブ体操 上肢運動 棒体操
9月	世代間交流	間違い探し 脳トレ（計算、漢字問題）	ゴムチューブ体操 階段昇降運動 平行棒運動
10月	コスモス見学（馬場）	手芸 脳トレ（虫食い算、計算）	階段昇降運動 歩行訓練 ボール体操
11月	外出支援（案山子見学） 交流会	手芸（裁縫） 脳トレ（計算、漢字問題）	反復体操 平行棒運動 棒体操
12月	クリスマス会	手芸 （プレゼント、餅花作り）	階段昇降運動 棒体操 平行棒体操
1月	初詣（たつの市神部神社）	手芸 塗り絵（カレンダー作り）	ボール体操 階段昇降運動 ゴムチューブ体操
2月	節分豆まき	手芸 脳トレ（計算、漢字問題）	棒体操 平行棒運動 階段昇降運動
3月	菜の花見学（御津町）	手芸 脳トレ（計算、漢字問題）	ボール体操 階段昇降運動 ゴムチューブ体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会 ボランティアとの交流会 （習字クラブや貼り絵作成 など）	書道、ちぎり絵、手芸	カラオケ、ボーリング、輪 投げ、物送りゲーム、カー リングゲーム、連想ゲーム

職員の法人内部研修の実施状況 (平成30年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
介護技術研修	ケアセミナー：介護の基本、寝返り、起き上がり、移乗介助技術について (講習及び実技)	介護職員	37名	6月2、27、30日	ケアプロデュースR X組 代表 青山幸広氏
産業医研修	健康診断結果の総評、生活習慣病について	全職種	13名	7月26日	産業医 久保精一郎氏
接遇研修	介護職員のビジネスマナー、介護職員のマナーについて	全職種	101名	7月10、11日 8月7日	株式会社ニッソーネット 教務主任 青野桂子氏
安全運転研修	福祉車両、安全運転自己診断、事故を起こさないための心得、ビデオ診断講評、自損事故の現状、実車による死角体感について	公用車を運転する職種	43名	8月20、21日 9月5、20日	大阪ガスオートサーブिस 安心運転 コンサルタント 吉田正信氏他
看取りケア強化研修	看取りケアの実際、死の受容プロセス、家族の気持ちと必要な対応、チームケア、介護者のあり方について	看護職員 介護職員	37名	9月10、12、14日	株式会社ニッソーネット 舟木つるえ氏
衛生管理研修	細菌性食中毒の特徴と予防について	管理栄養士 調理員	10名	10月22、29日	衛生管理株式会社 微生物検査室 森田氏
介護技術(ロボット)研修	ノーリフティングケア、日本の介護環境の現状、福祉機器の活用、役割と心構え、実践について	管理栄養士、調理員以外の職種	55名	11月7、16、19日	特別養護老人ホーム 施設長 田上優佳氏
職員倫理研修	身体拘束、拘束が及ぼす弊害と悪循環、身体拘束禁止11項目、緊急やむを得ない場合の対応、介護の質、人権擁護と倫理について	全職種	81名	11月7、16、19日	特別養護老人ホーム 施設長 小椎尾竹信氏
音楽療法研修	カラオケ機器のコンテックス、プログラムの参加率の向上方法について (講習及び実技)	機能訓練指導員 生活相談員 介護職員	19名	11月29日 12月5日 1月9日	株式会社兵庫第一興商 音楽健康指導士 村上真奈氏

参加人数は併設事業所も含む

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
接遇研修		デイ職員	15名	4月21日	生活相談員
リスク管理		デイ職員	13名	6月23日	生活相談員
交通ルールについて		デイ職員	16名	8月25日	生活相談員
リスク管理		デイ職員	13名	9月22日	生活相談員
身体拘束について		デイ職員	14名	11月24日	生活相談員
感染症について		デイ職員	14名	12月22日	生活相談員
リスク管理		デイ職員	13名	3月16日	生活相談員

認知症対応型通所介護の人数も含む

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
5月28日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認。各部署との連携確認。
6月28日	地震発生時訓練	日中体制による地震発生時における避難経路、避難誘導の流れの確認。各部署との連携確認。
10月31日	合同訓練	みやび野エリアにおける日中体制による漏電火災を想定し、避難誘導と避難経路の確認。各部署との連携確認。

職員の外務研修の受講状況

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
兵庫県老人福祉事業協会 子イ部会職員研修会	講演「Barthe Index」について	生活相談員	1名	8月17日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
平成30年度姫路市老人福祉施設 連盟施設長研修会	地域サポート施設の知事認定制度について	管理者	1名	8月20日	1日間	ホテル日紡姫路	口頭・復命
施設長・職員研修会の研修	介護ロボットの現状について	管理者	1名	11月26日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭・復命
平成30年度姫路市老人福祉施設 連盟職員研修会	ノーリフティングケアについて	介護職員	2名	2月20日	1日間	日本栄養専門学校1号館	口頭・復命
平成30年度姫路市老人福祉施設 連盟職員研修会	ノーリフティングケアについて	介護職員	2名	3月20日	1日間	日本栄養専門学校2号館	口頭・復命

苦情対応

発生日	苦情内容	解決方法
平成 31 年 2 月 1 日	<p>「送迎時における職員の対応について」</p> <p>利用者ご家族から担当ケアマネジャーを介して現在の送迎担当職員の対応や声掛けが以前に勤めていた送迎担当職員と比較して悪くなっていると申出がある。</p>	<p>①該当職員に対しては、管理者から直接注意及び指導を行うことを伝える。</p> <p>②送迎に従事している職員全員に対して声掛けや支援のあり方について日々のミーティング及び職員会議にて周知徹底を図る事を伝える。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 30 年 6 月 9 日	<p>「提供票の確認ミスについて」</p> <p>提供票の確認が不十分であったために利用予定のない日に誤って送迎を行い、利用者を事業所へとお連れしてしまう。その後、定期受診のために本人宅を訪れた家族から間違いの指摘を受ける。</p>	<p>①提供票を二重チェックする方法に変える。</p> <p>②日々の送迎表作成の際にも提供票と照らし合わせながら作成する。</p>
平成 30 年 8 月 29 日	<p>「駐車場フェンスの破損について」</p> <p>送迎車を準備する際、公用車駐車場のフェンスにワゴン車を接触させてしまい車体を損傷させる。</p>	<p>①送迎車を運転する際には内輪、外輪差に注意し、駐車場から出る際などゆっくり周囲を確認していくことを徹底する。</p> <p>②送迎におけるリスクや事故について、施設内研修を行う。</p>
平成 30 年 9 月 5 日	<p>「利用者への連絡ミスについて」</p> <p>台風に伴う被害を想定し、急遽営業を中止することになったため、利用予定者に対して連絡を行う。しかし、利用予定を変更し追加利用となった方への連絡ができておらず、後日、ご本人より連絡がなかったことの報告を受ける。</p>	<p>①営業中止の連絡については職員二人体制で確認を行う。</p> <p>②送迎名簿以外にも提供票も確認し見落としがないよう徹底する。</p>
平成 30 年 10 月 16 日	<p>「フロア内での転倒について」</p> <p>歩行状態が安定しない利用者が自らトイレに行こうとされた際に、バランスを崩し、尻もちをつかれる。すぐに外傷の確認を行うもその際ははっきりした外傷認められず。数日後に痛みが強くなり、ご家族が受診に連れて行かれた結果腰椎の圧迫骨折の診断を受ける。</p>	<p>①職員の見守り及び対応がしっかりと行えるよう座席位置の変更を行う。</p> <p>②利用者の状態を日々のミーティングで確認し合い、転倒リスクの高い方への対応が十分行えるようにする。</p>